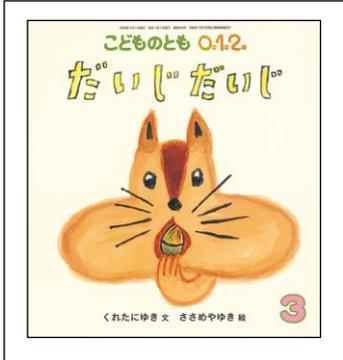




おすすめ絵本



秋風がそよぎ、心地よく過ごせるようになった季節☆親子で楽しめる『秋のおすすめ絵本』を紹介します！！



『だいじ だいじ』 文/くれたに ゆき 絵/ささめや ゆき
出版社/福音館書店

「りすさんはね まあるいどんぐり だいじ だいじ/ほっぺのなかに しまってる」「くまさんはね とろーりはちみつ だいじ だいじ/ひるねのまえに ひとくち なめよ」。やまねさんも、とりさんも、男の子のろっくんも、自分の「だいじ だいじ」なものを見せてくれます。誰しもが大事なものを持っているうれしい姿を、温かに愛情込めて描いた絵本です。

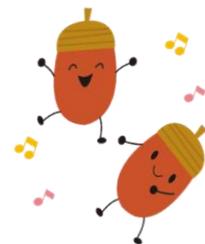
『ぎゅう ぎゅう ぎゅう』

文/おーなり 由子 絵/はた こうしろう 出版社/講談社

はたさん・おーなりさんの子育て体験から生まれたのが、「赤ちゃんとのあそびえほん」シリーズです。効果的な濁音で、親と子どものスキンシップの楽しさと大切さを伝えたいというのが、おふたりの願いです。

一作めの『ぶう ぶう ぶう』刊行のときにも、作者のおーなりさんは、「あかちゃんのおしゃべりは、ことばではなく、さわったり、みつめあったり、うたや音に耳をすませたり。たくさんさわって、たくさんわらいあって——赤ちゃんとの楽しい時間のきっかけになってくれたら、うれしいです」とおっしゃっていました。

二作めは、「ぎゅう」というタイトルどおり、おかあさんとの「ぎゅう」や、だいすきなぬいぐるみへの「ぎゅう」、おふとんへの「ぎゅう」などあかちゃんの身近なものとの「ぎゅう」の楽しさを描いています。



『はたらくくるまのずかん』 著者/五十嵐美和子
出版社/ 白泉社

大ヒット『でんしゃのずかん』に続く、乗り物図鑑第2弾。あたたかく写実的なタッチで、消防車やパトカー、バス、重機、話題の電気自動車など人気の「働く車」を描く他、「車と一緒に働く方法」も紹介。



あかちゃんのむかしむかし

『にんじんさんがあかいわけ』

文/松谷みよ子 絵/ひらやまえいそう 出版社/童心社

にんじんさんと、ごぼうさんと、だいこんさんが、いっしょにお風呂に入ったら……。

『どうぞのいす』

作/香山美子 絵/柿本幸造

出版社/ひさかたチャイルド

うさぎさんが作った椅子をめぐって次々に繰り広げられるとりかえっこ。「どうぞ」にこめられたやさしさが伝わってくるロングセラー絵本。



『さつまのおいも』

文/中川ひろたか 絵/村上康成

出版社/童心社

おいもだって、土の中でくらしている。ごはんも食べるし、歯もみがきます。トイレにも行くし、お風呂にも入ります。トレーニングで体をきたえて、さあ、子どもたちと綱引きです。「うんしょ とこしょ うんしょ とこしょ…」スプーン！と綱引き勝負はおいもたちの負け。たくさんとれたサツマイモで、みんなで楽しい焼きイモ大会。子どもたちほくほくおいしいサツマイモをいっぱい食べますが…。さあ、最後に勝ったのは…？
おいものおいしい季節にもぴったりな、大人気ロングセラー絵本。

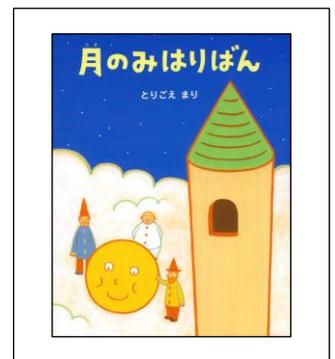


『月のみはりばん』

作・絵/とりごえ まり

出版社/偕成社

お月さまにもいろいろな準備があります。みはりばんたちは、お月さまをお風呂に入れたり、大忙し。そして今日も夜を照らします。



『よるくま』

酒井駒子

『よるくま』

作・絵/酒井駒子 出版社/偕成社

夜、男の子が寝ていると、まっ黒なよるくまがお母さんをさがしにきました。母の匂い、あたたかさを思いおこさせるファンタジー。

